



モスクワ日本人学校

# しらかば

第5号

モスクワ日本人学校  
一人一人が輝く学校  
笑顔あふれる学校

児童生徒数 112名

(E-mail)

[school@mosnichi.com](mailto:school@mosnichi.com)

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

## 豊かな歴史にふれる

伝統工芸博物館見学 (中学部)

## それぞれの「モス日物語」

校長 石川 賢

「お別れ会」がある朝は、階段を上る足が重く感じます。そんな朝が、72日間の学期中10回もありました。毎回、子どもたちは、転出する子どもたちの話に耳を傾け、心を込めて「今日の日はさようなら」を合唱し別れを惜しみます。どちらも寂しさを感じながらの朝です。それだけに、転出した子どもたちの様子を知らせる便りには格別の喜びがあります。

：親の心配をよそに、登校初日から元気にはつらつと通っています。転校する直前にいただいた朝顔の種を、帰国して間もなく娘と一緒に植えました。娘も水やりをがんばり、今、その朝顔がペランダで花を咲かせてくれています。：

こういった便りをいただく度に、心が暖まります。そして、「○○さんの『モス日物語』にはどんなことが綴ってあるのだろう」と思いを巡ら

せ、思いを新たにします。

心の教育は、生きること、学ぶこと、関わることに深く納得し感動する体験の質を確保することから始まります。学校の役割は、豊かな体験を組織し、そこから子どもたちが主人公となって「物語」を紡ぎ出すのを丁寧にサポートしていくことです。そういった使命を自覚し、子どもたちが夢中になって活動し「今」を充実できるような努めてきました。

輝く伝統に新たな一頁を拓こうと、一つ一つ積み重ねてきた一学期も最終頁になりました。謙虚に振り返り、新学期に備えたいと思います。

明日から夏休みです。子どもたちにとって「黄金の季節」の到来です。何に会い、どんな経験をし、どのように力を伸ばすのでしょうか。それぞれの「モス日物語」に記される姿を思い浮かべ、心躍らせています